

第Ⅰ回 令和７年度都市計画の立案等に係る基礎的調査業務 公募型プロポーザル選定委員会 議事概要

Ⅰ 日時

令和７年７月１１日（金）

Ⅱ 開催方法

書面による開催

Ⅲ 出席者

【委員】都市計画部長（委員長）、行政経営部次長、都市魅力部次長、土木部次長、
都市計画部次長

【事務局】都市計画部都市計画室職員

Ⅳ 議題

令和７年度都市計画の立案等に係る基礎的調査業務公募型プロポーザル実施要領等の承認について

Ⅴ 議事概要

令和７年７月１８日（金）を期限とし、各委員より意見書による意見の提出を求めた。
提出された意見書を踏まえ実施要領等の修正を行い、委員長一任により承認となった。
なお、各委員からの意見及び事務局の対応については別紙「各委員からの意見及び事務局対応」のとおりである。

Ⅵ 備考

本委員会は、全委員に対して個別に説明及び意見書による意見の提出を求めたことから、令和７年度都市計画の立案等に係る基礎的調査業務公募型プロポーザル選定委員会設置要領第５条第２項に定める定足数を満たし、本会議が成立している。

各委員からの意見及び事務局対応

対象

A:実施要領(案) B:募集要項(案) C:特記仕様書(案) D:審査評価項目・評価配点(案)

No.	対象	意見	事務局対応
1	B	P.3,5 参加表明書及び提案書等の提出方法について、事務局が事前に把握できるよう、持参、郵送とも電話連絡をしてもらうようにしてはどうでしょうか。	ご意見を踏まえ修正します。
2	B	P.4 (オ)・・・「(デザイン思考を活用した業務実績を有する場合は審査において高く評価します。)」 (カ)・・・「(まちづくりに対してデザイン思考を活用した業務の場合は審査において高く評価します。)」 ①(オ)、(カ)において審査において高く評価しますと記載していることから、「デザイン思考を活用」にかかわる配点についてはもう少し割合を高くしてはいかがでしょうか。 ②(オ)の「・・・活用した業務実績を有する・・・」は評価留意事項の項目に記載されていますが、(カ)の「・・・活用した業務・・・」は評価留意事項のどの項目に該当するのでしょうか。 ③企画・技術提案に関する項目すべてに該当するのでしょうか。	①デザイン思考を活用した業務実績の有無は業務目的の達成に大きく寄与することから、「プロポーザル審査評価項目・評価配点」における実績に係る配点を高く修正します。 ②「まちづくりに関する実績の有無」を評価項目のひとつに設定します。 (参考意見:No.9) ③すべてに該当するものではありません。 (オ)について 「企画・技術提案に関する項目」→「業務全体に対する提案」→「本業務を遂行するにあたり適正な履行体制及びフォローアップ体制が示されているか。」に該当します。 (カ)について 「事業者評価」→「業務実施の確実性・迅速性」→「まちづくりに対してデザイン思考を活用した業務の実績があるか。」を上記②のとおり追加しました。
3	B	P.5 5ページの冒頭に、一例)とありますが、改ページもあり、デザイン思考を活用した業務の一例か、まちづくりに関する検討業務の一例か、わかりにくいです。	わかりやすくなるよう体裁を修正します。

No.	対象	意見	事務局対応
4	B	P.7 5(2)イ 審査の時間配分について、プレゼンテーション 25 分、ヒアリング 25 分とありますが、提案書等の内容に基づく内容のプレゼンテーションであれば、提案書等は見た上で参加するので、全体時間は変更せずヒアリングの方に重点を置いた時間配分としてはどうでしょうか。	ご意見を踏まえプレゼンテーション 15 分、ヒアリング 25 分とします。 なお、進行状況によっては多少前後する旨を追記します。
5	B	P.7 5(2)イ 時間配分 プレゼン 25 分ヒアリング 25 分について プレゼン・ヒアリングに各 25 分要すると、審査全体が長時間化し集中力の低下や評価のばらつきにつながる恐れがあると危惧します。 また、提案内容は、事前提出資料で一定把握できることから、少なくともプレゼンは要点整理＋追加説明にとどめ 15 分程度で良いのではないのでしょうか。	
6	C	P.1 2 目的の2段落目 学識経験者の意見を踏まえると、今回の発注については従来のワークショップのような形で意見を聞くことを想定しているわけではないようなので、特記仕様書にもその旨を修正してはどうでしょうか。 例：従来型のアンケートやワークショップ等の調査手段・・・ ”従来型”とすれば新たな手法でのアンケートやワークショップ等の提案を排除する形にはならないかなと思います。	ご意見を踏まえ修正します。
7	C	P.3 8成果品 において、市民及び議会等への説明のため、「概要版」の作成を成果品として入れてはいかがでしょうか。	ご意見を踏まえ修正します。

No.	対象	意見	事務局対応
8	D	P.1 見積価格点について、企画提案者最低見積金額/当該企画提案者見積金額の出し方では、これまでの経験から、上限金額に近づき、価格の競争性が働かないと感じています。プロポーザルなので価格重視ではないことは理解しますが、もう少し価格の競争性が働く形での点数の出し方を検討いただきたいと思います。	提案の内容と価格とのバランスを考慮し、現在の案が最適と考え、現状のままとします。
9	D	P.1 【参考資料1】評価内容(業務実施の確実性・迅速性)について 「デザイン思考を活用した業務実績」を評価する項目において、加点基準が実績件数に基づいているが、最高得点が「まちづくりに関する実績の有無」という質的な要素に基づいている点に違和感を感じます。 一つの評価指標に、件数(量)と内容(質)という異なる評価軸を混在させることになりそうですが問題ないでしょうか？	ご意見を踏まえ、「まちづくりに関する実績の有無」を評価のひとつとして設定することとし、「デザイン思考を活用した業務実績」については件数(量)のみの評価とします。 (参考意見:No.2②)
10	D	P.1 評価項目の事業者評価の内容について(過去実績の対象期間について) ・社会状況やまちづくりの進め方(考え方)は、以下の例をみても、近年大きく変化していると思われます。 このような社会状況や手法の変化を踏まえ、現行業務に即した対応力を適切に評価するためには、実績評価の対象期間を10年→概ね5年程度に見直すと良いのではないのでしょうか(仮に実績が「10年前に1度実績あり」の場合、手法も古く当該委託業務に通用しない可能性があるため、過去実績点として評価してよいのか	10年前と比較すると、デザイン思考はその手法や重点を置くポイントが変化しているとともに、その対象も、プロダクトやビジネスのイノベーション目的から行政・公共的な領域やサステナビリティなどへ拡張されてきております。これを踏まえると、本業務では、より直近でデザイン思考の実績を有していることが望ましいことから、実績評価の対象期間は過去 <u>10</u> 年度間→過去 <u>5</u> 年度間に修正します。 ※募集要項にも同様の記載があることから、合わせて修正します。

No.	対象	意見	事務局対応
		疑問)。 例) 10 年前→現在 <住民意識> まちづくりは行政が行う→住民による主体的な参画の増加 <コロナ> 未発生→R 元年頃～影響あり <技術> SNS 普及期→スマホが生活インフラ化・LINE 等での住民との情報共有や意見収集が一般的 <住民参加> アンケート説明会中心→ワークショップなど双方向型	
11	D	①評価留意事項の中で「…、具体的かつ適切な提案がされているか。」とあるが、「適切な」とはどのような指標なのでしょうか？ ②実現性の確認についての記載は必要ないでしょうか？ ③評価留意事項が全体的に抽象的な記述のように思いますが、もう少し具体的にわかりやすい表現にならないでしょうか？	①②「適切な」の文言に実現性の観点を含んでおります。実現性の観点は非常に重要なことから、プレゼンテーション・ヒアリングの際には、そのような観点を含めご審査いただきたいと考えております。 ③審査当日までに、各項目における高評価となるポイントについて記載した資料を準備いたします。
12	D	①募集要項や仕様書、審査評価項目の中で「デザイン思考」については重要視され、単語として記載されていますが、「デザイン思考」についての一般的にこういうものであるとの認識は募集側と提案者側で一致しているのでしょうか。 ②募集要項又は仕様書等のどこかに募集側が期待する「デザイン思考」についての考えを記載しておく必要はないですか。	①②潜在的ニーズを把握するためにデザイン思考を活用することが本業務の主旨であり、その旨は「【資料4】特記仕様書」の「2 目的」に記載しております。 なお、「デザイン思考の考え方を取り入れ」の文言により、スタンフォード大学ハッソ・プラットナー・デザイン研究所が提唱する『デザイン思考の5つのステップ』を想定していることを、提案者側は認識できるものと考えております。

No.	対象	意見	事務局対応
13	その他	以下の文言については、表記の混在や公用文に関する規程などを踏まえ、修正された方がいいと思います。 ①募集要項 p1 2(1)～～第167条の4第1項に規定する者でないこと→～～第167条の4第1項の規定に該当する者でないこと ②募集要項 p5 イ 令和7年8月12日(火)～令和7年8月29日(金)→令和7年8月12日(火)から令和7年8月29日(金) ほかの期間の書き方と合わせた方がいいと思います。 ③募集要項 p2 表中、p8 7(5) 手続き→手続 ④特記仕様書 p1、3 または→又は すべて→全て、取り扱い→取扱い	ご意見を踏まえ修正します。 (全ての資料を確認・修正します。)